

平田篤胤

2014 年追試

問 5 平田篤胤の思想の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

24

- ① 『万葉集』を、古の遺風を伝える書物と考え、儒学や仏教の解釈によらずに、文献学的・実証的に研究すべきだと主張した。古来の為政の理想である古道を見いだす学問を始め、国学の祖と言われる。
- ② 和歌や物語文学を通じて歌道を研究するなかで、漢意を捨てて、悲しむべきことを悲しみ、喜ぶべきことを喜ぶ、ありのままの心のはたらきを知ることこそが大切であると説いた。
- ③ 古道を知るには『万葉集』を研究すべきであると考え、儒学や仏教の影響を受けていない日本人の素朴な自然のままの境地の重要性を主張し、「高く直き心」を理想とした。
- ④ 死後の靈魂の行方を論じるなど、日本人の死後の安心にも関心を抱いた。また、仏教や儒学の教説を排除し、神の子孫である天皇を中心とした古代の道に立ち戻るべきだと、独自の神道説を唱えた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 5	24	④	3

2004 年追試

問 4 平田篤胤に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

24

- ① 古道の研究を、特に歌論の中に展開し、「ますらをぶり」に日本的心情の典型を見いだして、そこにおける「高く直き心」を理想とした。
- ② 仏教・儒教・神道の教えをそのまま受け取るのではなく、教えの成立過程から、それぞれの思想史上の意義を相対的に見ることを説いた。
- ③ 功名や利欲を離れた純粋な心情に徹して、己の誠を尽くせば天道と一体になると説き、幕末の志士たちに勤皇の精神を強調した。
- ④ 古来の神道の姿を求めて、復古神道を提唱し、現実の生の背後にある死後の靈魂の行方を論じて、その教えは民間にも広まった。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 4	24	④	3

2002 年本試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

宣長の国学を復古主義の立場から展開させたのは である。彼は大和魂を尊
皇思想と結びつけて日本人に固有な精神と解釈した。

- ① 荷田春満 ② 平田篤胤 ③ 伴信友 ④ 契沖

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 1	21	②	2